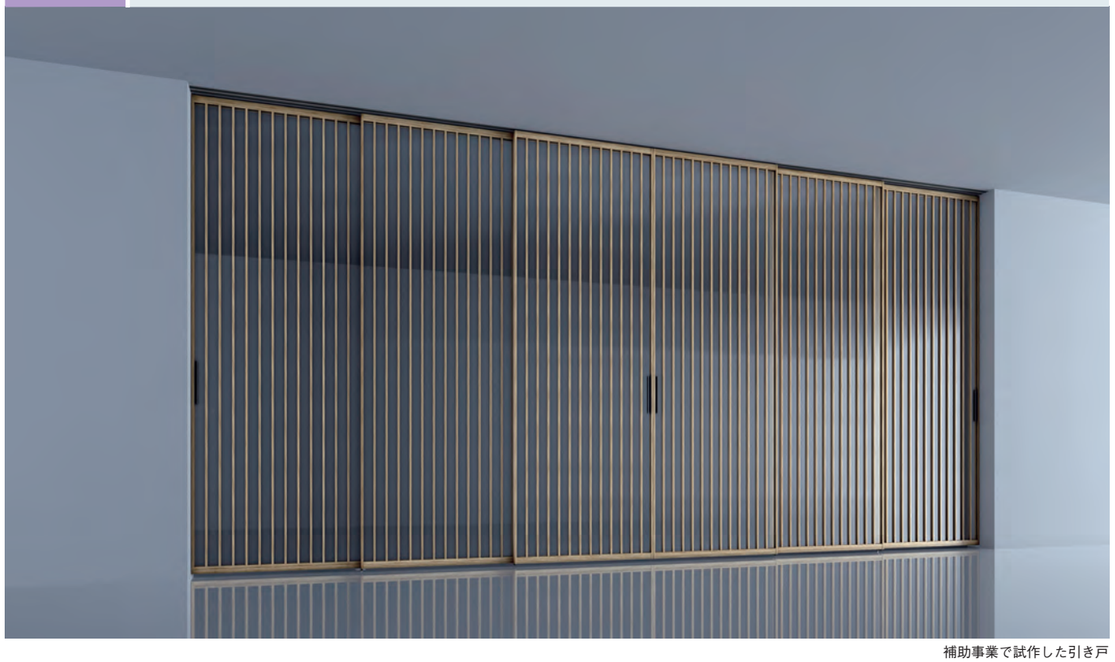
12 辻産業 株式会社



補助事業で試作した引き戸

こだわりのデザイン建具を開発、製作

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

３次元ＮＣ加工機導入による 多品種小ロット高付加価値サッシの製造

■ 事業概要

付加価値の高い建具を新たに開発し、生産量を伸ばすには３次元数値制御（ＮＣ）加工機などの設備の新たな導入が不可欠だった。例えばフレームを現有設備のプレス加工でつくる場合、形状の制約が大きいうえ金型が必要となるが、切削でつくれば形状の自由度が高まり、商品のデザインの選択肢が増える。今回、導入した加工機を生かし、インテリア引き戸「Ｒａｉｋｉ－雷切－」の新商品の開発に成功。今後、新デザインの商品開発を続け、生産効率も高めるのに必要な体制を築いた。

補助事業で商品の試作に取り組む

課題	取組	成果
●高付加価値な建具の開発や生産量の増大	●３次元ＮＣ加工機などの加工機を新たに導入	●インテリア引き戸「Ｒａｉｋｉ－雷切－」の新商品の開発に成功

業務内容

ハイクラスホテルの内装も担当

辻産業はふすまやアルミ室内建具といった住宅用の建具を製造、販売する。リフォーム業者、マンション施工業者、工務店、ハウスメーカー向けにシンプルでモダンなデザイン建具やアルミふすま、汎用的なクローゼットなど、こだわりのデザイン建具を開発、製作し、取り付け工事をしている。

手間を惜しまず、創意工夫して顧客が必要とするものを完成させ、デザイン性などで高い評価を得ている。国内外の著名人の衣装スタジオや楽屋で建具が使われたり、ハイクラスのホテルの内装を担当するといった実績にもつながっている。

アルミ室内建具に力

昭和45年に創業以来、ふすまの製造を手がけ、平成時代は量産化を進める一方、販路を東京や名古屋に拡大し、年間12万枚を供給する国内最大手のふすまメーカーになった。しかし平成20年秋のリーマン・ショック以降、ふすまの需要は急速に縮小。ふすまに代わる商品としてアルミ室内建具に力を入れ始めた。

ほかにガラスやファブリック（織物）、レザー、タイルなどを使った付加価値の高い建具の開発も行っている。本社工場（大阪府田尻町）で木質商品を、阪南工場（大阪府阪南市）でアルミやガラスなどの商品と、素材で工場を分けている。

デザイナーや施主らに見てもらおうとショールームも設ける。現在、東京に２カ所、大阪と福岡に各１カ所ある。

創業以来、ふすまを手がける

強みとビジョン

３条件を「一気通貫で」

「先進的なデザイン、材料の設計、加工できるか否か。この三つが一気通貫で把握できているのが強み」と辻将士社長は説明する。求められるデザインが分かり、加工可能な設計ができ、加工機の特性も理解している。３条件がそろって初めて「最終形の妥協がない」商品開発ができる。

「コンマ５㎜が圧倒的な勝ち負けにつながる世界なのに、全部分かっていないと、どこが頑張りどころか分からない」と辻社長は強調する。デザインをする人が材料設計を知らない、加工する人がデザインに疎いのでは勝負にならないとみている。

本社工場で木質商品を製作する

隣接市場の開拓も

社員には役職をあえて設けず、部署の垣根もほぼなくした。数年前からこの仕組みに変え、自分の立場にとらわれず何でも首を突っ込める社員の育成を目指している。

今後は住宅の洋室化や商品の多様化がさらに進み、アルミ室内建具や家具の小ロット多品種に対して十分な商品生産能力を備える必要がある。今回の加工機の導入はその一助となった。これまで培った技術を生かし、隣接市場の開拓も目指す。照明機器やじゅうたん、カーテンなど室内空間を構成するすべてを検討の対象としている。

格子の引き戸で部屋を引き立てる

商品はいつも“先行逃げ切り”で

辻産業は圧倒的な商品開発力が強みです。商品はいつも“先行逃げ切り”で、後から大手企業がまねします。売れるものをつくっているのでまねされて当然、むしろまねされないと困ると思っています。「あそこの商品と一緒」と言われるものはいりません。「こんなものができるの！」と驚かれる商品をこれからも一番乗りで生み続けます。

●社　名　辻産業 株式会社
●代表者　代表取締役社長　辻 将士
●住　所　〒598-0092
大阪府泉南郡田尻町吉見355-5
●ＴＥＬ　072-465-6347　●ＦＡＸ　072-466-3653
●資本金　50,000千円　●従業員　40名
<<< 代表取締役社長　辻 将士

http://www.tsujisangyo.com/

●主な取引先　リフォーム業者、マンション施工業者、工務店、ハウスメーカーなど
●主な保有設備　３次元ＮＣ加工機、パネル加工機、傾斜ザクリ穴加工機、接着剤塗布機など
●主力製品　ふすま、アルミ室内建具など

企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

「辻産業の強みは、難易度の高いお客様のご要望に数多く挑戦してきた事です。（中略）私たちは手間とこだわりを惜しみません」とホームページでうたっている。挑戦の数だけノウハウと実績、信頼関係を積み上げたという強い自負が伝わってくる。「デザインとクオリティーで同じ系統のライバルは国内にいない」と辻社長が力強く語れるのは、「発表段階で一番でないと勝てない」と商品開発で常に自らを追い込んでいるからでもある。